

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 保 福 一 郎

取 組 状 況	
教育	<p>線形代数学IIで取り入れた課題学習(4週実施)は、今年度で3回目を迎えたが、過去2回の反省点を活かし、課題の内容も学生の成果発表もグレードアップしたと考える。内容が難しかった応用数学IIは、今年度はカリキュラムを若干変更したため、学生の理解度が上がり、授業満足度の値も昨年度よりもかなり高くなった。来年度も学生との相互的な関係を築きつつ、学生の学力程度に見合った独自教材を工夫して作成し、学生にとって満足度の高い授業展開を心がける所存である。</p>
研究	<p>査読付き論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. I.Hofuku and T.Yokoi, An Application of a Method for Verifying the Validity of Groupings, INFORMATION, Vol.21, No.12, pp.2339-2346, 2018. 2. 福永修一, 保福一郎, 篠原知子, 固有値問題に対する実践的教育プログラムの実施とその検証, 日本数学教育学会高専部会研究論文誌, 掲載予定 <p>国際会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. I.Hofuku and T.Yokoi, Method for varifying the Validity of Groupings, Proceedings of the 9th International Conference on INFORMATION, pp.5-9, 2018.
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> 1. H30年度学会活動 INFORMATION 国際会議プログラム編集委員 2. TPメンター 3. 科学研究補助金基盤研究C研究代表者